

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第1学年 重複A類型	日常生活の指導	①道徳「きみのところをつよくするほん」（主婦の友社） ②保健体育「改訂新版 体験を広げることものずかん9 からだとけんこう」（ひかりのくに） ③理科「きょうのそらはどんなそら」（大日本図書）			
目標	<p>(知) 学校生活で日常的に行われる諸活動を通して、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思) 身の回りの生活と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。</p> <p>(学) 毎日の継続した諸活動に自分から取り組もうとしたり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	<p>「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など</p> <p>「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法の確認、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など</p>	①②③	<p>(知) 自ら頭を下げたり、手を振ったり、握手をしったりして挨拶をすることができる。 今日の日付や曜日を意識することができる。 (思) 日常生活に必要な身辺処理を自主的に行おうとしたり、教師と一緒にいたりすることができる。 一日の移り変わりが分かる。 身近な人と自分との関わりが分かり、挨拶や簡単な応対ができる。 (学) 学級の中で役割を果たそうとすることができる。</p>	学級 グループ	26
1 学期授業時数					26
2 学期	<p>「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など</p> <p>「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など</p>	①②③	<p>(知) 自ら頭を下げたり、手を振ったり、握手をしったりして挨拶をすることができる。 今日の日付や曜日を意識することができる。 (思) 日常生活に必要な身辺処理を自主的に行おうとしたり、教師と一緒にいたりすることができる。 一日の移り変わりが分かる。 身近な人と自分との関わりが分かり、挨拶や簡単な応対ができる。 (学) 学級の中で役割を果たそうとすることができる。</p>	学級 グループ	30
2 学期授業時数					30
3 学期	<p>「朝の会」 ・挨拶、健康観察、日課予定、天気 ・係の仕事、身だしなみ確認、歌 など</p> <p>「帰りの準備」 ・翌日の日課予定、下校方法、歌 ・一日の振り返り、挨拶 など</p>	①②	<p>(知) 自ら頭を下げたり、手を振ったり、握手をしったりして挨拶をすることができる。 今日の日付や曜日を意識することができる。 (思) 日常生活に必要な身辺処理を自主的に行おうとしたり、教師と一緒にいたりすることができる。 一日の移り変わりが分かる。 身近な人と自分との関わりが分かり、挨拶や簡単な応対ができる。 (学) 学級の中で役割を果たそうとすることができる。</p>	学級 グループ	14
3 学期授業時数					14
総授業時数					70

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第1学年 重複A類型	生活単元学習	①国語「あ、らいおん!だめだよ、だめだよ、くすぐっちゃ!」(大日本絵画) ②社会「子どものマナー問題(1) 子どもの生活のマナー」(信成社) ③国語「どうももんずかん!」(こぼろ舎) ④数学「五味太郎の絵本10 かたち」(絵本館) ⑤理科「きょうのそらはどんなそら」(大日本図書) ⑥職業・家庭「くぐももの」(福音堂出版)			
目標	<p>(知) 体験的な活動を通して、生活に必要な技能を身に付ける。</p> <p>(思) 自分の気持ちを表現したり、他者に伝えたりする。</p> <p>(学) 人や物と関わりながら、学んだことを生活に活用しようとしてすることができる。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「新しい友達や先生、中学部を知ろう」 ・自己紹介、個人、学級目標の設定 ・1学期の行事等について ・新しい友達や教師について ・教室の場所について ・校内、校外の散歩など	/	(知) 自分の学級の教師や友達のことに関心を持ち、相手を知ろうとすることができる。 (思) 行事の内容を理解し、自分で楽しみな気持ちを表現しようとする。 (学) 友達や教師などに働きかけたり、働き掛けてもらったりして気持ちを表現したり、一緒に過ごすことに期待感をもつことができる。	学級	6
	「新入生歓迎会」 ・新入生歓迎会の準備	/	(知) 中学部の先輩達から自分がお祝いされていることに気付く。 (思) 自分のことを知ってもらうために、嬉しい気持ち等を伝えようとする。 (学) 中学部の生活に期待感をもつことができる。	学部 学級	2
	「育てよう1」 ・畑作り、植物の苗植え、観察記録、収穫	④⑤⑥	(知) 植物の写真や具体物を見て、食べたい気持ちや触りたい気持ち等の表現したり、好きな色や花を選択したりすることができる。 (思) 植物を見たり、触れたり、匂いを感じたりして、植物の特徴や感触の変化に関心を持てる。 (学) 葉などの匂いや感触を感じることができるような姿勢を取ろうとすることができる。	学級 グループ	7
	「夏まつりをしよう1」 ・事前学習、店出し準備、練習 ・店出し、店回り、片付けなど	/	(知) 活動への見通しをもち、集団での簡単な役割を果たそうとすることができる。 (思) 自分の役割を考え、表現することができる。 (学) 友達へ働きかけたり、働き掛けてもらったりすることで楽しむことができる。	学年 グループ	9
	「1学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、1学期の振り返り	/	(知) 感じたことや考えたことを発表しようとしてすることができる。 (思) できるようになったこと等を表現することができる。 (学) 次の学期へ意欲を高めることができる。	学級	2
1学期授業時数					26
2 学期	「2学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・2学期の行事等について	①④	(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (思) 自分が楽しみな行事等を発表しようとしてすることができる。 (学) 友達などに働きかけたり、働き掛けてもらったりして2学期に期待感をもつことができる。	学級	1
	「中学部まつりをしよう2」 ・事前学習、店出し準備、練習 ・店出し、店回り、片付けなど	/	(知) 活動への見通しをもち、集団での簡単な役割を果たそうとすることができる。 (思) 自分の役割を考え、表現することができる。 (学) 友達へ働きかけたり、働き掛けてもらったりすることで楽しむことができる。	学年 グループ	5
	「運動会を頑張ろう1」 ・事前学習、事後学習など	/	(知) 運動会で友達と協力して頑張ったことが分かる。 (思) 頑張りたいこと等を発表しようとしてすることができる。 (学) 運動会に向けて意欲的になったり、楽しみにしたりすることができる。 達成感を感じ、次の行事を頑張ろうとすることができる。	学級	6
	「地域について知ろう1」【校外学習】 ・身近な地域について ・地域の産業について ・高等部文化祭について	②③	(知) 校外学習のまわりを知り、集団生活の中での役割を果たすことができる。 (思) 地域のことについてまとめたり、発表したりすることができる。 (学) 地域について興味や関心をもつことができる。	学級	8
	「チャレンジタイム1」 ・学級の実態に応じた指導 ・揺れ、音、光、風などを用いた学習	①④⑤⑥	学級の実態に応じた指導目標	類型 学年	8
	「2学期を振り返ろう」 ・頑張ったね会、2学期の振り返り	/	(知) 感じたことや考えたことを発表しようとしてすることができる。 (思) できるようになったこと等を表現することができる。 (学) 次の学期へ意欲を高めることができる。	学級	2
2学期授業時数					30
3 学期	「3学期も頑張ろう」 ・個人、学級の目標設定 ・3学期の行事等について	/	(知) 学期ごとの行事を知り、学校生活に見通しをもつことができる。 (思) 自分が楽しみな行事等を発表しようとしてすることができる。 (学) 友達などに働きかけたり、働き掛けてもらったりして3学期に期待感をもつことができる。	学級	1
	「育てよう2」【栽培】【調理】 ・畑作り、じゃがいもの種手植え、水やり	④⑤⑥	(知) 植物の写真や具体物を見て、食べたい気持ちや触りたい気持ち等の表現したり、好きな色や花を選択したりすることができる。 (思) 植物を見たり、触れたり、匂いを感じたりして、植物の特徴や感触の変化に関心を持てる。 (学) 葉などの匂いや感触を感じることができるような姿勢を取ろうとすることができる。	学級	5
	「卒業生を祝おう1」 ・卒業生を送る会準備、卒業生を送る会	/	(知) 卒業する友達を知ることができる。 (思) 行事に対して、見通しをもちながら卒業生を祝うための発表等ができる。 (学) 卒業生を祝う気持ちをもつことができる。	学部 学級	2
	「校内で働く人にインタビューしよう」 【進路学習】 ・インタビューを行う人や日程について知る。 ・インタビューを行う。	/	(知) 教師との移動ややり取りを通して、校内には自分たち以外に働く人がいることに気付く、その人の声や雰囲気の変化を察知しようとする。 (思) 教師と一緒に相手への関わり方を考え、VOCA(音声出力装置)やスイッチ等を用いて、適切なタイミングでインタビューの音声を再生しようとする。 (学) インタビュー場面において、相手を見つめたり表情を変えたりして、やり取りの心地よさを味わいながら、活動を継続しようとする。	学級	4
	「1年生を振り返ろう」 ・頑張ったね会	/	(知) 感じたことや考えたことを発表しようとしてすることができる。 (思) できるようになったこと等を表現することができる。 (学) 次の学年へ意欲を高めることができる。	学級	2
3学期授業時数					14
総授業時数					70

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複A類型	作業学習			
目標	<p>(知) 製作を通して、物の有無が分かり、道具を扱うことができる。</p> <p>(思) 製作を通して、友達や教師、物と関わりながら表情や声等で気持ちを表現することができる。</p> <p>(学) 製作を通して、責任をもって自分の役割を果たそうとすることができる。</p>			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
1 学 期	「作業学習について知ろう」 ・作業学習の目的、内容の理解	(知) 作業学習がどんな学習か、体験を通して知ることができる。 (思) 体験を通して、自分ができそうなことや得意なことを発表することができる。 (学) 作業学習の体験を通して、今後の学習に期待感をもつことができる。	学級 グループ	1
	「作業を経験しよう1」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種類から一つを取り組む。それぞれの指導内容は、以下の通り。 本類型は年間を通して、2種目以上取り組むこととする。 【陶芸】 ・粘土を伸ばす、切り取る、整えるなど ・小皿・箸置き作り(成形、やすり掛け、色付け) ・ラッピング ・振り返り 【手工】 ・ミシンの使用 ・ビーズ通し、刺し子、ステンシルなど ・ランチマット作り、雑巾作り ・振り返り 【クラフト】 ・牛乳パックを使用した紙すき(紙をちぎる、シュレッダーを掛ける、ミキサーの使用など) ・紙すきはがきへの装飾 ・紙を使用した作業 ・振り返り <共通> ・準備、片付け ・掃除	【陶芸】 (知) 粘土の感触を知ることができる。 粘土を触ったり、握ったり、押さえたりすることができる。 (思) 粘土を触ったときに、手指を動かしたり、握ったりしようとしてすることができる。 (学) 物を作る楽しさや完成した時の喜びを味わうことができる。 作業に見通しをもち、じぶんから活動しようとしてすることができる。 【手工】 (知) 道具の名称や使い方を知ることができる。 ミシンの振動を感じるすることができる。 (思) ワッペンを貼る位置などを決めることができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとしてすることができる。 【クラフト】 (知) 教師と一緒に作業を体験することで、工程や道具の使い方を理解することができる。 紙や水、バルブなどに触れ、質感や温度などの違いを感じることができる。 (思) 制作する紙の色を選ぶことができる。 (学) 物を作る楽しさや完成したときの喜びを味わうことができる。 作業に見通しをもち、自分から活動しようとしてすることができる。	学級 グループ	12
1 学期授業時数				13
2 学 期	「作業を経験しよう2」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種目から、「作業を経験しよう1」で選択した種目以外の一つを取り組む(作業内容は、上記の内容と同様)	上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	15
2 学期授業時数				15
3 学 期	「作業を経験しよう3」 「陶芸」「手工」「クラフト」の三つの種目から、一つを取り組む(作業内容は、上記の内容と同様)	上記3種目から1種目を選択	学級 グループ	4
	「中2・3の作業を見学しよう」 ・中学部第2・3学年の作業学習の見学をする。 ・中学部マーケットに参加する。	(知) 見学等を通して、新しい作業学習やその内容を知ることができる。 (思) 見学を通して来年度やってみたい作業種目について考え、発表することができる。 (学) 見学を通して、来年度へ向けて期待感をもつことができる。	学級 グループ	2
	「1年間を振り返ろう」 ・1年間で行った三つの作業種目についての頑張り振り返る。	(知) これまで作ったものを見て、振り返ることができる。 (思) 振り返りを通して、頑張ったこと等を考えたり、発表したりすることができる。 (学) 2年生からの作業学習に期待感をもつことができる。	学級 グループ	1
3 学期授業時数				7
総授業時数				35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学校 1年生 重複A類型	音楽	①おんがく☆☆(東京書籍)			
目標	(知) 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (思) 音楽表現を工夫することや、表現することを通して、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。 (学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を養う。				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
通年	「音楽始まりの歌、音楽終わりの歌」 ・「音楽始まりの歌」「音楽終わりの歌」を通しての挨拶 「朝の会の歌、帰りの会の歌」 ・呼び掛けとこたえを取り入れた発声の練習 「季節の歌」 「学校行事に向けての歌」 「エコーソング」 「音楽に合わせた身体表現」 「ボディーパーカッション」 (表現「歌唱」「身体表現」) ・学年の歌や季節の歌などの歌唱や身体表現 ・自分の体の部位を動かしたり、タッチをしたりするなど、歌詞や音楽の変化を意識した身体表現 ・様々な歌を通して友達との関わり合い	①	(知) 曲名や曲想と、簡単な音楽のつくりについて気付く、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。 (思) 音や音楽に興味をもって聴くことができる。 (学) 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を身に付ける。 【共通教材】 生徒の生活年齢及び発達段階に応じた、日常生活に関連した曲 「茶つみ」(文部省唱歌) 「うさぎ」(日本古謡) 「ふじ山」(文部省唱歌) 「子もり歌」(文部省唱歌) 「せくらさくら」(日本古謡) ※ 1曲以上適切に取り扱うようにする。	学級グループ	
	「校歌を知らう」 (表現「歌唱」) ・本校の校歌の歌詞の理解と歌唱	①	(知) 校歌に使われている特徴的な音楽に気付く、自分の歌声に注意を向け、教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思) 校歌の旋律を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。 (学) 校歌を斉唱する中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を身に付ける。	学級グループ	1
	「リズムに親しもう1」 (表現「音楽づくり」) ・特徴的なリズムと旋律を意識した歌唱 ・簡単な拍打ちやリズム打ちの練習 ・リズムや速度を意識した演奏 ・身の回りの音、簡単なリズム・パターンを取り入れた音楽づくり	①	(知) 声や身の回りの様々な音や、音のつなげ方が生み出す面白さに気付く、思い合った表現をすることができる。 (思) リズムの学習活動を通して、音の面白さに気付くとともに、音や音楽で表現することについて思いをもつことができる。 (学) リズムの学習活動で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を身に付ける。	学級グループ	10
「たのしくコンサート1」 (鑑賞) ・歌唱表現や小奏楽の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聞く中で、好きな音色や楽器の音、フレーズを見付けることができる。 (思) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を身に付ける。	学級グループ	2	
1学期授業時数					13
1学期	「みんなで演奏しよう1」 (表現「音楽」) ・楽器の演奏の練習 ・友達に合わせることを意識した演奏 ・伴奏に合わせた打楽器や旋律楽器での合奏	①	(知) 拍や曲の特徴的なリズムと楽器の音色の違いに気付く教師や友達と一緒に演奏することができる。 (思) 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 (学) 友達と演奏する中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を身に付ける。	学級グループ	12
	「たのしくコンサート2」 (鑑賞) ・たのしくコンサートに向けての練習 ・歌唱表現や小奏楽の演奏の発表 ・他学年の生徒や教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 特徴的な曲調に気づき、友達や教師と一緒に歌ったり、演奏したりすることができる。 (思) 曲の旋律を自分らしく歌いたいという思いをもつことができる。 (学) 歌唱や身体表現で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を身に付ける。	学級グループ	3
2学期授業時数					15
2学期	「楽器に親しもう」 (表現「音楽」) ・音階や楽器の音色の違いについての理解 ・様々な打楽器や旋律楽器の演奏の体験 ・自由演奏や簡単なリズム打ちの練習 ・伴奏に合わせた演奏	①	(知) 拍や曲の特徴的なリズムと楽器の音色の違いに気付く教師や友達と一緒に演奏することができる。 (思) 身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつことができる。 (学) 楽器を演奏する中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を養うことができる。 たりするとともに、楽器に親しむ態度を身に付ける。	学級グループ	4
	「卒業証書授与式の歌を練習しよう1」 (表現「歌唱」「身体表現」) ・卒業証書授与式に向けての歌唱や身体表現の練習	①	(知) 曲に使われている特徴的な音楽に気付く、自分の歌声に注意を向け、教師や友達と一緒に歌うことができる。 (思) 曲の旋律を自分なりに歌いたいという思いをもつことができる。 (学) 歌唱や身体表現で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を身に付ける。	学級グループ	1
	「たのしくコンサート3」 (鑑賞) ・歌唱表現や小奏楽の演奏の発表 ・教師による歌唱や楽器演奏の鑑賞	①	(知) 身近な人の演奏や自分の生活に身近な音を聞く中で、好きな音色や楽器の音、フレーズを見付けることができる。 (思) 身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くことができる。 (学) 鑑賞の活動をする中で、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようにする態度を身に付ける。	学級グループ	2
3学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書			
中学部 第1学年 重複A類型	美術	①美術「あそびの絵本 えのぐあそび」(岩崎書店)			
目標	<p>(知) 形や色などの違いに気付き、表したいことを基に材料や用具を使い、表し方を工夫してつくるようにする。</p> <p>(思) 表したいことを思い付いたり、作品などの面白さや楽しさを感じ取ったりすることができるようにする。</p> <p>(学) 進んで表現や鑑賞の活動に取り組み、つくりだす喜びを感じるとともに、形や色などに関わることにより楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。</p>				
期	単元名・指導内容	教科書	単元目標	授業形態	時数
1 学期	「Tシャツのデザインをしよう!」 ・技法の理解 ・紙や布を使った技法の練習 ・複数の画像や絵などから図柄の選択 ・デザインの検討、下描き ・技法を用いた模様の描画 ・作品の鑑賞		<p>(知) 道具を自分なりに扱い、Tシャツや画用紙や布に模様を付けることができる。</p> <p>(思) 技法を使い、デザインを表現することができる。</p> <p>他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さに気付くことができる。</p> <p>(学) シャツ作りを通して、技法を使って創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。</p>	学級	13
1 学期授業時数					13
2 学期	「感触を楽しもう!」 ・粘土の操作(ちぎる、丸める、伸ばす、へらの操作など) ・紙粘土を用いた立体表現、着色 ・様々な材料や用具を用いた制作活動 ・作品の鑑賞	①	<p>(知) 手の平やへら、伸ばし棒等の操作しやすい用具を使って粘土を作成したり、型抜きを使って粘土を切り抜いたりすることができる。</p> <p>(思) 見本を見て作りたいものを選んだり、作品作りの面白さを感じたりする。</p> <p>他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。</p> <p>(学) 粘土で創造する楽しさを感じ、達成感をもつことができる。</p>	学級	15
2 学期授業時数					15
3 学期	「思い出を表現しよう!」 ・写真や映像での振り返り、描画する場面の選択 ・色鉛筆やクレヨン、絵の具などの道具を用いた描画活動(混色の体験を含む) ・作品の鑑賞		<p>(知) 色や用具を自分で選び、色を作るなどしながら、経験したことを描くことができる。</p> <p>(思) 色や感触を感じながら、モザイクタイルを使って表現することができる。</p> <p>他の作品の鑑賞を通して、作品の良さや面白さ、特徴に気付くことができる。</p> <p>(学) 楽しく描画活動に関わろうとする態度を身に付ける。</p>	学級	7
3 学期授業時数					7
総授業時数					35

令和8年度 広島市立広島特別支援学校 年間指導計画

学部・学年 類型	教科等	教科書		
中学部 第1学年 重複A類型	自立活動			
目標	障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うとともに、心身の調和的発達の基盤を培うことができる。 (6区分27項目から個々の児童に必要な項目を選定し、それらを相互に関連付けて指導を行う。実態に応じて、単元・取組を設定する。学習内容は、個別の指導計画に基づく。)			
期	単元名・指導内容	単元目標	授業形態	時数
通年	○運動(健康の保持・身体の動き) 「身体をほぐそう」 「身体を支えよう」	・身体への働き掛けを受け止め、心地良さを感じたり、リラックスしたりする。 ・教師と一緒に体操を通して身体を動かす。 ・心身の緊張を緩めたり、身体の部位に注意を向けたりする。 ・教師の支援を受けて、活動に適した姿勢をとる。	学級 グループ 個別	752.5 (1学期 279.5) (2学期 322.5) (3学期 150.5)
	○運動(健康の保持・身体の動き) 「身体を動かそう」 「身体を使おう」	・教師の支援を受けながら、身体を動かすことを楽しむ。 ・姿勢の変化や身体の動きの変化を受け止め、身体を適応させる。 ・様々な姿勢に慣れ、それぞれの方法で身体を動かそうとしたり、使おうとしたりする。		
	○コミュニケーション(心理的な安定・人間関係の形成・コミュニケーション) 「表そう」 「伝えよう」 「やりとりしよう」	・関わりや活動に気持ちを向けたり、自分の気持ちを表したりする。 ・相手や様々な働き掛けに応じて、思いを伝えようとする。 ・自分なりの手段で返事をしたり、やり取りしようとする。		
	○認知(心理的な安定・環境の把握) 「聴いてみよう」 「触ってみよう」 「見てみよう」	・身の回りの音や教師の声等に注意を向ける。 ・繰り返し聞いたことのあるフレーズに対して、反応を示す。 ・提示された物に手を伸ばしたり、操作したりしようとする。 ・何かに触れたときに反応したり、手に触れている物の触り心地等の変化に気付いたりする。 ・人や物に注意を向け、注視したり、ゆっくり動く人や物を追視したりする。 ・繰り返しの活動に期待感をもつ。		
	○6区分(健康の保持・心理的な安定・人間関係の形成・環境の把握・身体の動き・コミュニケーション) 「給食を食べよう」	・身支度や特定のフレーズから給食や注入の始まりに気付く。 ・口腔周辺の刺激を受け入れる。 ・においや目の前の食べもの、言葉掛けから食べることに期待感をもつ。 ・教師の支援を受けながら、食べることに適した姿勢をとる。 ・教師の支援を受けながら、開口、取り込み、閉口位での嚥下等、口などを動かしながら食べる。		
総授業時数				752.5